

講座のご案内

主催：堅粕公民館

◇ 乳幼児ふれあいクリスマス会

日時：12月7日(木) 11:00～
会場：堅粕公民館 講堂
対象：乳幼児と保護者
内容：クリスマスツリーをみんなで飾りましょう！
そして、クリスマスの工作を楽しみます。



◇ 土曜わくわく教室 「きよしこの夜 クリスマスランタンづくり」

日時：12月2日(土) 10:00～
会場：堅粕公民館 講堂
内容：ジャム瓶でランタンづくり
定員：20名
材料代：100円(自宅からジャム瓶持参なら0円)
対象：小学生
※詳しい案内は小学校を通じて配布いたします。



◇ 第5回思い出の1曲ミニコンサート

レコード盤等をお持ちいただき、当時の思い出を語っていただきながら、音楽を楽しみます。

日時：12月13日(水) 18:00～
会場：堅粕公民館 講堂
定員：15名



◇ 味噌づくり教室

日時：12月14日(木) 13:30～
会場：堅粕公民館 講堂
持参品：エプロン・三角巾
材料代：3kg 2,550円・5kg 3,850円(当日徴収)
申込期限：材料準備の都合上、12月2日(土)まで
※ 申込み・お問合せは堅粕公民館へ(☎473-6010)



主催：食生活改善推進会

公民館から

- ◇ 公民館臨時休館 … 12月28日(木)、1月4日(木)
これらの日の利用を希望される方は、それぞれ12月18日(月)、12月25日(月)までにお願ひします。
- ◇ 年末年始休館 … 12月29日(金)～1月3日(水)

人尊協から

福岡市人権尊重週間 12月4日～10日 考えよう みんなの人権

昭和23(1948)年12月10日、国連第3回総会で「世界人権宣言」が採択されたことを受けて、わが国では毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、福岡市では、「福岡市人権尊重週間」と定め、集中的な啓発活動を行っています。

◇ 堅粕校区人権尊重パネルディスカッション

日時：12月11日(月) 19:00～20:30
会場：堅粕公民館 講堂
テーマ：「家庭における男女の役割」
内容：地域の方をパネラーとして、各家庭での家事分担の実態や男女間の不合理性などの事例発表をもとに、男女それぞれの立場から意見交換を行うとともに、家庭における男女の役割について、「あるべき姿」、「望ましい姿」を模索します。

福岡市から

子育てのお手伝いをしてみませんか!

～ 福岡ファミリー・サポート・センター～

『福岡ファミリー・サポート・センター』では依頼会員(子どもを預かってほしい人)と、提供会員(子どもを預かれる人)が、相互に子育て援助活動を行っています。

保育所等へのお迎えや用事があるときの預かりなどにご利用ください。なお、依頼会員と提供会員を兼ねることもできます。

提供会員の講習会について

提供会員になるには、3日間の講習会を受講する必要があります。

- 日程：1/12(金) 10:00～14:30 ■申込方法
1/15(月) 10:00～15:00 電話・メール・FAXで、
1/30(火) 10:00～15:00 下記宛にお申込みください。
- 会場：市民福祉プラザ ■申込期間：12/1～1/5(先着順)
- 託児有(要申込、先着順)

※依頼会員となる場合も、利用方法などの説明(1時間程度)を受ける必要があります。(こちらは随時受付、要申込)

申込み・お問い合わせ先
社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
福岡ファミリー・サポート・センター本部
〒810-0062 中央区荒戸3-3-39
TEL:736-1116 FAX:713-0778
Eメール:f-support@fukuoka-shakyo.or.jp



詳細はこちらをご覧ください。

自治協議会から

主催：堅粕校区クリスマスふれあいコンサート実行委員会

◇ 堅粕校区クリスマスふれあいコンサート2023

日時：12月16日(土) 14:00～
会場：堅粕小学校 体育館
出演者：福岡ウィンドアンサンブル、東光中学校吹奏楽部、福岡高等学校吹奏楽団
問合せ先：堅粕人権のまちづくり館 TEL:651-9452



サークルからの報告

主催：マージャン大学校

◇ 第6回麻雀大会(10月26日開催)の結果

- ・優勝 吉川 様
 - ・準優勝 奥田 様
 - ・三位 松本 様
 - ・ブービー賞 前田 様
- 入賞の皆さん、おめでとうございます!



館長のつぶやき

～ 私の昭和が遠くなる…。～

今年は昭和を代表するスターが、相次いでお亡くなりになりました。

私が思いつく限りでも、ミュージシャンでは坂本龍一さん、谷村新司さん、もんたよしのりさん、大橋純子さん、コメディアンでは犬塚博さん(クレージーキャッツ)、財津一郎さん、スポーツ界では中西太さん、北別府学さんなど、キリがありません。

皆さんそれぞれの分野で昭和、平成と活躍された方ばかりですが、私の青春時代と重なる方ばかりです。

谷村新司さんは、私が高校時代に東京のラジオ局で、深夜番組のパーソナリティをしておられ、福岡では電波が弱く、ラジオのチューニングを微妙に調整したり苦心して聞いていました。

また、財津一郎さんはテレビで長年活躍され、「〇〇してチョーダイ！」など、いろんな名セリフを生み出されました。

中西太さんは、往年の西鉄ライオンズの主力選手で監督も務められましたが、私が物心ついた頃のライオンズは弱体化していました。

それぞれの方に思い出は書ききれませんが、最近、訃報が流れるたびに「えっ!あの方が?」と思うようになってきました。わが身の年齢を思えば、「昭和が遠くなった。」と感じるのも致し方ないのでしょうか、「正月は、冥土の旅の一里塚」と感じ始めるお年頃かも。